

# Profile

## 吉崎りえ / マリンバ



武藏野音楽大学音楽学部器楽学科マリンバ専攻卒業。帰福後は、ソロのマリンバ奏者としてリサイタルやジョイントコンサートを開催。また、九州交響楽団打楽器奏者とのアンサンブル・コンサート活動に参加、活動の幅を広げた。

「茅笛の会」(東京)ヨーロッパ演奏旅行参加、全国選抜のマリンバフェスティバルや演奏会客演等、コンサート出演は多数。2011年、ニューヨーク(米国)にてR.Ito指揮によるチェンバーオーケストラと共に演奏し、好評を博す。2000年頃より「自然の恵みにより生まれた楽器マリンバの“樹のぬくもり”」をコンセプトにソロ演奏の他、マリンバデュオ・コンサートや打楽器アンサンブルでのファミリーコンサート、他楽器とのアンサンブル等を数々主催。マリンバ・打楽器を高橋美智子氏に師事。音楽工房アトリエ「おばーる」主宰。JXA日本木琴協会賛助会員、本部気付分室長。

## 大場章裕 / マリンバ、打楽器



東京音楽大学を経て同大学大学院科目等履修修了。同大学卒業演奏会出演。第28回日本管打楽器コンクールパーカッション部門第1位。同コンクール大賞演奏会にて東京ニュースティ管弦楽団とA.ジョリヴェ作曲「パーカッション・コンセルト」を共演し、審査員特別賞受賞。イタリア・フェルモで開催された第10回イタリア国際打楽器コンクール・マリンバ部門第1位。2007年ザルツブルグで開催されたモーツアルテウム音楽学校サマーアカデミーに奨学生を得て参加。第5回安倍圭子国際マリンバアカデミーに参加。オーディションに合格しファイナルコンサートに出演。13年アメリカ・アーケータで行われたZMF(ゼルツマン・マリンバ・フェスティバル)に参加。サントリーホール・ブルーローズにて自身初のソロリサイタルを開催し好評を博す。現在、フリーパーカッショニストとして活動中。東京音楽大学助手。

## 森永基本 / 津軽三味線



幼少の頃、母親の影響で民謡と三味線の音色を聴いて育つ。6歳より津軽三味線を習い始め物心が付いた時にプロになることを決意、12歳より日本民謡京極流家元・京極利則(大阪)のもとで修業を積む。『三味線を現代(いま)に伝えたい』という想いから、和と洋の融合をテーマにCLUB JAZZをベースにした洋の東西、時代をトランスしたパフォーマンスを展開している。2013年に発売したDVD「Deux VISAGES」は自身で作曲した曲に自ら振り付けして奏で舞うという業界初のミュージッククリップ発表。また、東日本大震災復興支援チャリティー公演「結」を開催するなど社会貢献活動にも力を入れている。さらには、オリジナルブランド『MOTOKI MORINAGA』を立ち上げ、さまざまなグッズのデザインを開発も行う。

伝統の和楽器津軽三味線の「打」アフリカを起源とするマリンバと打楽器群の「打」樂器の王様ピアノをも打楽器とする考え方を尊重した「打」の響要素晴らしい世界観を持つこだわりの樂器達出会うはずの無かつたこの奇跡のアンサンブルがいよいよ実現します多彩な音色の融合の瞬間をご期待ください

## 西村圭代 / ピアノ

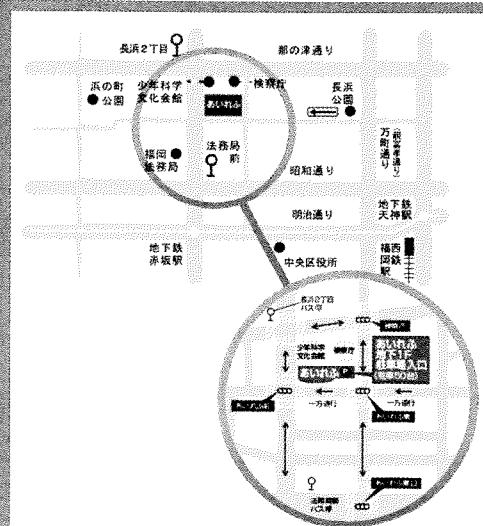


福岡女学院高等学校音楽科、国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修卒業。卒業後、音楽教室常勤講師としてピアノ指導及びリトミック教育に携わる。経て合唱、唱歌、コンクールの伴奏ピアニスト、スクールコンサート等、各地で各種演奏会に出演。幼児楽合奏曲のアレンジや音楽ボランティアの他、後進の指導も行っている。ピアノを穴井恵子、加藤一郎、故吉田文子、堀江志磨、呉恵珠の各氏に、声楽を久保田真澄氏に師事。現在、混声コーラスさわら野の伴奏ピアニスト、西日本新聞TNC文化サークル アイ&カルチャ天神講師。

### ●交通アクセス：

福岡市健康づくりサポートセンター

- 西鉄バス「長浜2丁目」  
バス停より徒歩約1分  
(那の津通り)
- 西鉄バス「法務局前」  
バス停より徒歩約3分  
(昭和通り)
- 西鉄バス「赤坂門」  
バス停より徒歩約4分  
(明治通り)
- 地下鉄「赤坂」駅で下車し、  
3番出口より徒歩約4分



## 「打」の響宴